

苦小牧市長 岩倉博文様

## シルバー人材センターへのご支援についての要望

晩夏の候 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素から、当センターの運営につきましては特段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年少子高齢化が進み人口が減少していく中で、働く意欲のある高齢者が年齢に関係なく活躍し続ける「生涯現役社会」を実現することが今まで以上に重要となっております。このような中、シルバー人材センターは高齢者の就業を通して、高齢者の生きがいや健康の増進と、地域社会の活性化に貢献したいと考えております。

当センターとしては、会員数の拡大に努めるとともに、会員が培ってきた技能や知識を活用することで、地域に必要な団体として市民の期待に応えていきたいと考えております。つきましては今後もこの目標達成に向けて役職員が一丸となって取り組んでまいりますので、下記の項目につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 令和5年度補助金の確保

従前から苦小牧市からの運営補助金については、国の基準に則ってセンターが国に申請する補助金額と同額を交付いただいているところです。コロナ関連で厳しい財政状況の中大変恐縮ですが、令和5年度につきましても是非確保いただきますようお願い申し上げます。

#### 2 公共事業の発注の確保

高齢者が行うことが可能な業務につきまして、以前より苦小牧市から様々な業務を受注させていただいております。今後も当センターの目的をご理解いただき、空家の見回りなどシルバー会員のできる業務があれば、発注の際には特段のご配慮をお願い申し上げます。

#### 3 センター事務所の確保

当センターが事務所として使用させていただいている苦小牧市労働福祉センターは、市民ホール建設に際して統廃合の対象となっていることから、活動拠点としての事務所の確保につきましては、特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和4年8月3日

公益社団法人 苦小牧市シルバー人材センター

理事長 守屋久義